



ちゅうりっぷ組だより

9月号

平成30年9月20日

ことり保育園

担当 団野



頬に当たる風が心地良く、外遊びを存分に楽しめる季節になりました。
歩けるようになった子は、ピカピカの靴を履いて、少しぎこちない足取りで、固定遊具に向かいます。アンパンマンバスでは、アンパンマンの絵を見ては、「パンマン」と言って撫でたり、「せんせ」と言って窓から顔を覗かせて手を振るなど、一つひとつの行動から、成長を感じます。

月齢の小さい子も、保育者と一緒に園庭のテーブルベンチに座って、喃語でのやり取りは、とても愛らしいです。



お友だちとの関わりも増え、同じ方向に高速ハイハイで進んでは、「こっちだよ」と振り向くので、まるでハイハイで追いかけてこをしているようです。

また、カーテンやベビーベッドのある部屋の隅に行くと、「ここだよ」とかくれんぼ。「ここだよ」と自分から出て来ては大笑いする姿に、思わずまわりも笑顔になりました。

好きなおもちゃがあると、「これ私の」「ぼくのだよ」と主張することも多くなってきましたが、テーブルが出て、給食の時間と分かると、あっさり、おもちゃを手離して席に着く子ども達。

これから、いろいろな経験をして、「驚き」や「発見」を引き出していきたいと思っております。

